













STI NBR CHALLENGE 2023 Nurburgring 24h Race















僕自身*Nurburgring* に6回目の挑戦。週末を通してこんなに天候が安定しているのは、初めてではないかなと思う程、1週間一度も雨を見る事がなかったレースウィークでした。毎年このNBR24hに挑する際に、ディーラーメカさん達と一緒にレースをしています。ここに来てくれるディーラーメカさん達は、厳しい試験を受けて選ばれた人です。本番中もタイヤ交換や決勝中にブレーキ交換も、ディーラーメカさん達が行ってくれます。現場に入るとディーラーメカさん達は、本番で行う予定の交換練習を行っていました。今年は練習走行の枠が無く、いきなり木曜日から予選が始まります。予選で必ず一人予選で2周計測を行わないと決勝に出場の権利が得られないので、まず木曜日の予選で、

一人2周ずつ計測を行っていく予定でメニューが組まれておりました。



















<公式予選 / 1位>

昼の予選は、井口選手とティム選手が2周ずつ計測。夜の部の予選では、カルロと自分 (山内英輝)が担当しました。ただ夜の部では、エンジントラブルが出てしまい、自分もカルロも一周計測後ピットに戻りながら、何とか2周計測をする事ができました。 マシンのフィーリングは、前回と比べて全体的にグリップ感が薄く、4人で話し合って、少しセットアップの変更をチームに依頼。またエンジンの問題もあり、金曜日の予選までにエンジンを載せ変える予定を組んでおり、メカのみんなはレース前に大きな作業となりました。金曜日の予選3回目は、まずチェックを行うために、カルロでロングを確認。 決勝の1スティント分走り切っても今までの症状は無く、改善方向が見えたことで、チームにも笑顔が溢れておりました。また予選もトップタイムを獲得することもできました。



















< 決勝 / 1位>

決勝は、土曜日の16時から始まり、日曜日の16時にチェッカーとなります。ここから長い長いレースが始まります。1周25キロあるので、一人走れる周回数は8周となります。一人大体4~5スティントを担当します。今回スタートを担当するのは、チーム内で1番燃費が良い井口選手。自分は4回目を担当していきます。まず一番最初に問題が発生したのは無線問題でした。ティムも無線のやり取りが出来ず、自分と交代するタイミングでタイミングで無線の修復を行いましたが、問題は解決されず悪化。エンジン音や周り音がほとんど聞こえず、難しい走行となりました。チームとのやり取りも行えず、自分自身でモニターに示される燃料の数値を見ながら、また通常の周回数を行えるのか考えながら、自分で判断するしかありませんでした。路面温度も下がり、グリップが低いので燃費も

燃費モードに切り替えて走行。無事に通常の 周回数8周を走りきり、井口選手と交代。 このタイミングで無線機の本体を交換して修復 に入ります。次の自分の担当は、夜中の2時 頃の予定です。自分と変わるまで順調に進み、 2回目のスティントを走ります。夜中なので、 例年とおりクラッシュの荒しです。そこら中で イエロー区間が出ておりました。

















無事に自分のスティントも走り終え、3回目のスティントの予定は、朝方の予定です。 ここからトラブルが続出してきます。一つ目はオルタネーターが発電せず、エンジンが 可能性がありましたが、何とかピットに戻って修復することができました。次は、カルロの クラッシュです。これはマシンに原因があり、走行中にスタビを支えているボルトが折れ、 マシンのバランスが崩れガードレールに接触。また別の問題でエイゾースト漏れがあり、 これを交換するためにエンジン交換も余儀なくされました。結果ピットに5時間止める事に。 順位も最下位まで落ちましたが、修復後、各ドライバー全員で取り返すために攻め続け、 2位までポジションを戻す事に成功。他車もトラブルで止まっている車両もあり、ラッキーな 部分もありました。最終的にトップとは2ラップ差まで取り返しましたが、届きませんでした。 昨年はトラブルでリタイヤ。今年は、何とかマシンを修復していた時間もありましたが、 チェッカーを受ける事は出来ました。

シャーシ、エンジンともに新しい物に挑戦し、 ニュルで走らないと見えない部分が沢山あり、 富士のテストでは、一度も出なかったトラブル でした。やはりニュルは、他とは比べ物に ならない負荷があるサーキットだと再認識。 また来年挑戦して優勝を取り返しに戻りたいと

思います!ご声援ありがとうございました!

